

第7回 前近代歴史地震史料研究会

主催：新潟大学災害・復興科学研究所「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山現象の解明のための史料収集と解析」研究グループ，科研基盤研究 B「前近代における巨大地震の家屋倒壊率と死亡者数の研究」研究グループ，科研基盤研究 C「災害記録としての活用に向けた年代記の研究」

2019年11月16日（土）12:00～17:30 受付開始 11:30

会場：新潟大学総合教育研究棟D棟1階大会議室

研究発表会日程

12:00～13:20 口頭発表

- 齋藤瑞穂・鈴木正博 縄文三陸地震津波再論—山田湾の復興を考える手掛かりとして—
佐藤善輝・小野映介 九十九里浜平野における歴史地震津波に関する検討
北村 繁・伊藤伸幸 中米・エルサルバドル、イロパンゴカルデラの4～6世紀噴火とその影響
清水 香 出土遺物にみる火災の痕跡について

13:30～14:50 口頭発表

- 片桐昭彦 15世紀の越中における地震と津波
松岡祐也 『当代記』にみる文禄・慶長期の地震・噴火災害
蝦名裕一 史料にみる1611年慶長奥州地震津波に関する記述の継承
矢田俊文 俳人岡西惟中と宝永地震

15:00～16:20 口頭発表

- 原田和彦 善光寺町（長野市）における災害と復旧・復興
堀 健彦 津波被害絵図からみる1854年南海地震
原 直史 安政地震における泉北地域の家屋被害
西山昭仁 1854年安政南海地震における九州東部での家屋被害の検討
—豊後国・日向国を事例として—

16:30～17:30 口頭発表

- 杉森玲子 1855年安政江戸地震後の旗本屋敷の状況
原田智也・中村亮一・石瀬素子・酒井慎一
1855年安政江戸地震による佐倉城・城下の被害と震度
谷口 央 三河国「形原役所記録」に見る安政東海・南海・江戸地震の被害把握とその影響

どなたでも参加いただけます。（申込不要）

問い合わせ先 片桐昭彦（新潟大学人文学部）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学人文学部

電話 025-262-6542 E-mail : katagiri@human.niigata-u.ac.jp